

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		経営体育成支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	岐部 則夫
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	大久保 志穂
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 11617	法令根拠	経営体育成支援事業実施要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑤
								コスト削減優先度評価結果	: ⑨

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	適切な人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が、農業経営の発展・改善を目的として、金融機関からの融資を活用して農業用機械等を取得する場合に、取得に要する経費から融資等の額を除いた自己負担額について助成する。(助成額:事業費の3割)
【業務の流れ】	①要望調査の周知②経営体調書の作成③経営体育成支援計画等の作成・提出④配分額の通知⑤県から市に対する配分⑥市から経営体に対する配分⑦経営体育成支援計画の承認⑧補助金の交付決定⑨農業用機械及び工事等の契約(着工)
【主な予算費目】	補助費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	機械導入には有利な制度なので、申込者が多数いるが、毎年配分があるわけではないので、機械導入の計画がたて難いとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	農業施設・機械の導入の助成	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 農業施設・機械の導入の助成
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)台 →ア:導入機械数 イ:導入施設数	予算の主な増減の理由 国・県からの配分結果と経営体の要望量により毎年増減する
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市人・農地プランに位置づけられている中心経営体	(単位)人 →ア:事業申請者数 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 経営規模の拡大や業務の改善	(単位)項目 →ア:助成対象経営体の成果目標数 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 農業経営の改善・発展を図るのがこの事業の目的のため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	ア	台		8	5	0	5	5	5	5
	イ	棟		0	0	0	0	0	0	0
②対象指標	ア	人		8	4	0	5	5	5	5
	イ									
③成果指標	ア	項目		16	0	16	10	10	10	10
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円					10,000	10,000	10,000
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円		0	0	0	0	10,000	10,000	10,000
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人		2	1	2	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		532	500	588	500	500	500	500
	(B)人件費計	千円		2,119	1,992	2,342	1,992	1,992	1,992	1,992
	トータルコスト(A)+(B)	千円		2,119	1,992	2,342	1,992	11,992	11,992	11,992

事務事業名	経営体育成支援事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 平成27年度に事業繰越したため	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成26年度事業は、平成27年度に繰り越したので平成27年度には達成できそうである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 全額国補助のため、国・県の配分しだいで事業の執行が決まるため	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似した事業がないので、できない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 全額国庫補助のため削減できない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 予算執行や目標達成状況報告などのとりまとめが毎年行われるため、委託等はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 補助要件に該当する農家には補助金の案内をその都度通知しているので、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国、県、市を通しての補助金であるので、できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>26年度は経済対策で3月補正で配分があったので、希望者には助成ができたが、事業執行の期間が短かったため平成27年度に繰り越した。 毎年度事業が執行できるかどうかは国・県の配分しだいとなるため難しい。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						